

2024年10月11日

小金井市長  
白井 亨 様

小金井市議会 緑・つながる小金井  
幹事長 坂井えつ子  
坂井えつ子とつながる小金井の会

## 2025年度 市政運営に対する要望事項

### 1. 気候非常事態宣言に基づき、積極的な温室効果ガス削減策に取り組むこと

- (1) 市民とともに気候危機対策に取り組めるよう、宣言の周知に努めること
- (2) 大規模改修時まで待つことなく市立小中学校の教室の断熱改修を行うこと
- (3) 公共施設や学校施設の更新の際には、ZEB（Net Zero Energy Building・ネット ゼロ エネルギービル）改修に取り組むこと
- (4) 電力需要の状況を見ながら、再生可能エネルギー100%電力の維持拡大に努めること
- (5) 庁用車の更なるEV(電気自動車)化、委託事業者等や市民への周知をさらに進めること

### 2. 新庁舎・(仮)新福祉会館をスケジュール通り進めるよう説明責任を果たすこと

- (1) 現在示している2025年7月着工、2028年4月オープンのスケジュール通りに事業を進めること
- (2) 新庁舎建設が立ち止まっていたため、新福祉会館管理運営計画策定委員会が中断している。適切な時期に再開すること

### 3. 都市計画道路小金井3・4・1号線、3・4・11号線外の中止を求めること

2024年度、市は2路線の独自検証を行なっている。東京都は、2024年10月に都と区市町村による検討会を設置し、新たな整備計画の策定に向け検討を進めるとしている。「施行者である東京都に対し事業化の中止を求める要望書を提出するなど、はけと野川を守り、豊かな暮らしや文化を後世に継承」という市長意思を果たすこと

### 4. 公立保育園が何園必要なのか、市の考え方を明らかにすること

白井市長は、公立保育園が何園必要なのか明言を避ける状況が続いている。2025年5月に出る予定の市立保育園の在り方検討委員会の答申を踏まえ、白井市長の方針を示すこと

### 5. 有機フッ素化合物(PFAS)について、実態の把握及び除去・軽減策に努めること

- (1) 東京都が新規対策として2024年度に予算化した、区市町村と連携したPFOS等地下水調査の追加調査に小金井市として手をあげること。同時に市として、国や都の調査から漏れる井戸の調査を行うこと。国や都に、調査の前倒しやPFAS除去の対応及び必要な財政的支援を求めること
- (2) 希望者が血液検査を受けられる体制を国や都に求めること
- (3) 国に原因究明を求めること
- (4) PFAS問題に対応する市役所部局間の連携会議の機能をもう一步進め、具体的に施策を進めるためのワーキンググループとすること

## **6. 議論や意思決定の場に女性及びジェンダー平等の視点を反映させること**

### **(1) 理事者および管理職のジェンダーバランスを保つこと**

市役所部長職は11名全員が男性で、管理職の女性比率は67人中12人で17.9%(2023年4月1日現在)である。いずれかの性が40%を下回らない管理職配置とすること

### **(2) 行政委員会及び審議会等における女性の割合は、36.5%(2023年4月1日現在)である。いずれかの性が40%を下回らない委員構成とすること**

### **(3) 第2次基本構想(1991年)に明記されてからおおよそ30年間、先送りとなっている男女平等推進センターの設置に向け、他の公共施設の整備の機会も捉え整備に向けた検討に取り組むこと**

## **7. 多様な性のあり方を尊重すること**

### **(1) 性的少数者への理解を更に進めるために、市が市職員・教職員への研修、市民向けの講座、講演会、図書展示、事業所や学校、医療機関へ性的少数者の人権尊重の取り組みの周知等々、様々な施策を行うこと**

### **(2) パートナーシップ制度について、東京都と連携しながら、市内医療機関や不動産業者など民間事業者への周知を進めること**

### **(3) ファミリーシップ制度を創設すること**

### **(4) 同性婚の法制化を国に求めること**

## **8. 玉川上水の維持管理にあたっては、多様な樹木のいのちを等しく尊重すること**

### **(1) 伐採した樹木の萌芽更新を適切に行うこと**

### **(2) 法面保護のあり方について、調査研究を進めるよう東京都に要望すること**

## **9. 障がいのある人もない人も共に学び共に生きる小金井に**

### **(1) 自立支援協議会に当事者部会を設置する、各審議会等に1人以上障がいのある方を委員とするなど、障がいのある方の意見を反映させる仕組みをつくること**

### **(2) 基礎的環境整備及び、建設的な対話による合理的配慮の提供を進めること**

## **10. 武蔵小金井駅北口の再開発事業は、環境配慮に最大限取り組むよう再生協議会と協議すること**

### **(1) 再生可能エネルギーの導入など、ZEBの実現に取り組むこと**

### **(2) 雨水の中水利用及び貯留槽の水は、下水に流すのではなく地下に浸透させるように取り組むこと**

## **11. 今後の再開発事業において、小金井市のまちづくりとして高層建築物に対する規制をかけること**

武蔵小金井駅北口の再開発事業で建設される高層ビルは、南口の約95m、80mより高い約125mになってしまうことが示された。今年の夏も、外出することが危険に感じられる酷暑が続き、熱中症で搬送された人、亡くなった人が多いと報道され、今後もこの傾向は続くと言われている。開発による高層ビルの建設は、巨大なエネルギーを使い、風の通り道がふさがれ、地球温暖化をさらに進める。北に、小金井公園、南に野川、武蔵野公園、市内農地と小金井には緑が多い。今後、自然環境が豊かな小金井市内で、再開発(経済優先)の名のもとに、さらに高層ビルが建設されないよう、小金井市として高さ制限をかけること

以上